

にいがた労福協

ライフサポートセンター

No.55 2023年10月15日発行
 一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6 番地 2
 Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
 E-mail ni-rfk@bz04.plala.or.jp
 URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>
 発行責任者 石本伸二

第10期にいがた福祉リーダー塾

新たな時代に対応できる人材育成をめざして

7月7〜8日(金・土)、新潟市万代シルバーホテルにおいて、社会情勢の変化の中で新たな時代に対応する人材育成をめざした、第10期にいがた福祉リーダー塾を開催しました。

連合、労金、こくみん共済coop、全港湾、ささえあい生協、ワーカーズ、コープデリにいがたから20名の塾生が参加しました。牧野理事長の主催者あいさつ、石本専務理事のオリエンテーションの後、2日間の日程で5講座を受講し、最後にグループミーティングを行い、1泊2日の1回開催で完結する講座となりました。

受講生の皆さんは、最初は緊張した面持ちでしたが、終了間際には打ち解けた雰囲気となり中身の濃いリーダー塾となりました。

◆第1講座

演題「競争か連帯か？戦後労働運動と労働者自主福祉運動の理念と歴史を振り返る」

講師 中央労福協講師団・講師 高橋 均 氏

◆第2講座

演題「SDGs (持続可能な開発目標) 時代のパートナーシップ活動の有効性を高めるヒントを探る」



講師 新潟NPO協会 理事 吉崎 利生 氏

◆第3講座

①演題「労働金庫運動のこれから」

講師 労働金庫 常務理事 村山 義則 氏

②演題「こくみん共済coop運動の基本方向と課題」

講師 こくみん共済coop新潟推進本部事業推進部 米田 東 氏

◆第4講座

演題「チームワーク力を高め、性格分析し自分の強みを

講師 知る」

講師 マインドウエルネスアドバイザー 鈴木 美和 氏

◆第5講座

演題「志と気概を持って社会運動としての労働運動を前進させよう！」

「目線は低く志は高く」、不可欠な「虫の眼と鳥の眼」

講師 中央労福協講師団・講師 山本 幸司 氏

なお、第5講座の、山本幸司氏



の講演内容は、新潟県労福協TV (YouTube) にアップしましたので、視聴願います。
 終了後、期限内にすべての皆さんがレポートを提出し、講座を見事に終了されました。今後のご活躍を心からご祈念いたします。

2023年4月1日 - 12月30日

ローン見直し大作戦

期間中に他金融機関ローンの借換えを用途として各ローン(30万円以上)を新規契約いただいた方の中から抽選で合計300名様に当たる!

A賞

アイロボット
ロボット掃除機
ルンバ i3

B賞

UCギフトカード
5,000円分

C賞

QUOカード
3,000円分

【抽選・当選発表】抽選は3回に分けて行います。1回目は4月〜6月の契約者を対象に7月に、2回目は7月〜9月の契約者を対象に10月に、3回目は10月〜12月の契約者を対象に1月に、それぞれ行います。当選人数は、各賞A賞は4名、B賞は40名、C賞は56名とさせていただきます。●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。●応募資格については、返済年数2年以上の契約が対象となります。●自己預金型ローン(貸付)は対象外とさせていただきます。●マイプラン等の当選賞品は、期間中に借換えを用途として新規契約し、30万円以上の借入実績がある契約が対象となります。●賞品の当選はイメージであり、実際の内容と異なる場合があります。●キャンペーンについて詳しくはチラシへお問い合わせください。

新潟ろうきん 新潟ろうきん 検索

東部ブロック

第239回幹事会および 2023年度事業団体責任者会議報告



7月18日(火)、東部ブロック第239回幹事会および2023年度事業団体責任者会議が神奈川県横浜市「ワークピア横浜」において開催されました。

幹事会では①ライフサポート事業経 験交流(9月15日・新潟県)、② 2023年度代表者会議、③第58回定期総会(11月29日・埼玉県浦和市)の開催内容等について協議しました。



事業団体責任者会議では、ろうきん、こくみん共済coopからの現状報告と今後の活動方針が示され、福祉強化キャンペーンなどを通じて、連携強化や共助の拡大、利用促進などを取り組むことを確認しました。



中央労福協

事業団体・地方 労福協合同会議

7月20日(木)、東京都千代田区の教育会館において中央労福協主催の「事業団体・地方労福協合同会議」が開催されました。

全国福祉キャンペーンの取り組みやライフサポートセンターの運営・活動に関する今後の方向性、オンライン連続講座「デイリーセントワークと社会的連帯経済」、第66回定期総会についての協議が行われました。



新潟県退職者連合

第31回定期大会

7月26日(水)、東映ホテルにおいて第31回定期大会が開催されました。「生き生きと安心して暮らせる社会を創ろう!」というスローガンや、活動報告、活動方針が満場一致で承認されました。

役員改選においては、会長に山田太郎氏、副会長に諸橋孝雄氏、小柳優子氏、事務局長に眞田守氏と各団体からの幹事の皆さんが選出されました。





7月27日(木)、ANAクラウンプラザホテル新潟において、総代302人中291人(委任出席4人、書面議決出席207人を含む)の出席により、「新潟県総合生活協同組合第69回通常総代会」および「こくみん共済coop新潟推進本部 第6回組合員代表者会議」が開催されました。

「第69回通常総代会」では、2022年度事業報告と決算報告、2023年度事業計画と事業予算等について、すべての議案が承認されました。

こくみん共済coop
新潟県総合生活協同組合第69回通常総代会および
こくみん共済coop新潟推進本部第6回組合員代表者会議



「第69回通常総代会」のあとに開催した「第6回組合員代表者会議」では、2023年度新潟推進本部活動計画などを審議し採決を行い、すべての協議事項が可決承認されました。

今回、間前専務理事の後任として石本専務理事が総合生活協理事およびこくみん共済coop新潟推進本部代表委員に選任されました。

健康に不安のある方も安心の 一生涯の医療保障！

こくみん共済 NEWS
1523M012

高血圧
でも？



糖尿病
でも？

持病
があっても？

公式キャラクター
ヒットくん

胃潰瘍
でも？

加入できる方 満15歳～満80歳の方

共済期間・掛金払込期間 終身

保障内容 月々の掛金は加入時(発効日)の満年齢・性別によって決まります。

入院日額は3,000円～10,000円まで1,000円単位で選べます。
(年齢・職業・身体の状態によっては異なる場合があります)

必ずご確認ください

- このプランは健康状態に不安を抱えている方などを対象としたプランのため、当金の他のプランに比べて掛金が割増しされています。
- 健康状態によっては、掛金を割増ししていない他のプランにご加入いただける場合があります。
- 保障を開始した日からその日を含めて1年以内に支払事由に該当した場合は、支払われる共済金が半額(50%削減)となります。

総合医療共済

終身 引受基準緩和型プラン

終身生命共済・個人長期生命共済

以下の3つの告知項目すべてが「いいえ」なら加入OK！

1

現在、入院中ですか。あるいは医師より入院または手術をすすめられていますか(今後、予定がある場合を含みます)。

2

過去2年以内に、病気やけがで「手術」または「連続して7日以上入院(正常分娩による入院を除きます)」をしたことがありますか。

3

過去5年以内に、がん^{※1}または肝硬変の診断^{※2}・治療・投薬・入院・手術を受けたことはありますか。

※1 がんとは、白血病・骨髄腫・悪性リンパ腫・肉腫・骨肉腫などを含むすべての悪性新生物をいいます。
※2 がんまたは肝硬変の疑いがあると医師に指摘された場合を含みます。

*ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

こくみん共済 新潟推進本部
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop (新潟県総合生活協同組合)

奨学金ネットワーク

第2回総会

7月31日(月)、勤労福祉会館において奨学金ネットワーク第2回総会が開催され、活動報告、活動方針などが承認されました。

給付型奨学金の必要性が少しずつ認知をされつつあるが、まだまだ周知や理解不足は否めず、社会的なうねりを作り出すためにも、さらなる活動の強化が必要であり、取り組みを強めていくことが確認されました。



新潟県労福協

平和を希求する取り組み

One minute silence



新潟県労福協では、平和を希求する取り組みとして8月9日(水)の始業時や昼食時を利用して、原爆犠牲者追悼ならびに平和祈念の願いを込めた1分間の黙とうを呼びかけました。多くの団体からご賛同をいただき、実施をしていただきました。



こくみん共済coopにて

新潟県労働金庫にて



オンライン連続講座のお知らせ

デイリーストワークと社会的連帯経済

中央労福協では「つながる経済で社会を変える!」をテーマに全12回の連続講座を9月からオンラインで開催しています。

社会的連帯経済は、「つながる経済」とも言われ、利益優先ではなく、人々のつながりや支えあい社会や環境との調和を大切にする経済活動です。市場経済では対処が難しい問題を解決するための新たな経済として世界中で注目をされています。

全12回のオンライン無料講座で社会的連帯経済とは何かを一緒に学び、よりよい社会づくりに向けてつながっていきましょう。

詳しくは、中央労福協のホームページをご覧ください。



中央労福協

第6回シンポジウム 「女性のひろば」に参加して



9月13日(水)、東京都の主婦会館プラザエフにおいて中央労福協主催の加盟団体、関係団体の女性役職員を対象とした「女性のひろば」が4年ぶりに対面形式で開催されました。

コロナ禍になって4年、女性に困難が集中している現状から「コロナ禍での女性の貧困を考える」をテーマに、ノンフィクションライターの飯島裕子氏を講師に迎え、これまで取材してきた実例を基に「女性活躍」の陰に埋もれる中高年女性の貧困の現状をお聞きしました。非正規雇用・ワンオペ育児・DV・虐待等女性に困難が集中し、シングルマザー・単身女性は未だ雇用(会社)の調整役であるという悲しい現状に心を痛めました。後半では講演を聞いて感じたこと、自分自身や組織で実践してみたいことについて交流しました。貧困は見えづらく気付きにくい現状があり、誰もが生きやすく、働きやすい環境を整えることの重要性をグループ内で確認しました。2022

年5月に「女性支援法」が可決されましたが、今後どのような変化が起こるのか大いに期待したいと思います。

理事 小林 佳代



東部ブロック

ライフサポート経験交流

9月15日(金)、新潟東映ホテルにおいて東部ブロック・ライフサポート事業経験交流が開催されました。東京・関東・山梨・静岡などの各県から43名のライフサポート事業に携わる参加者が集まりました。

はじめに、NPO法人風テラス理事長の坂爪真吾氏から『風テラスの現場から見た「新潟における女性の貧困」の構造と課題』という演題で、風俗という仕事の場でも女性の貧困は広がっていること。支援が必要な人が増えていること。福祉は風俗に勝てない。しかし勝てなくても「負けない」ことは



可能。困難を抱える女性たちとつながり続けることが大切であるとの講演を受けました。

その後、各県からの報告を受け、ライフサポート事業の現状と課題や特徴的な事例などの報告と意見交換を行いました。

新潟県からは17名が参加し、新潟県の状況を報告しました。もし、まわりに困りごとを抱えている人がいたら、ひとりで悩まないで「新潟県ライフサポートセンター」に電話をするよう勧めてください。電話番号は0258-86-8898です。

駐新潟大韓民国総領事館主催 韓日ハンガウィ祭り in 新潟

9月22日(金)、駐新潟大韓民国総領事館主催の「韓日ハンガウィ祭り in 新潟」が開催されました。

J-POP「ひなた」の公演、韓服のファッションショー、「CHIBI CHIBI UNITY」や「新潟総踊り響」のダンス、韓国伝統舞踊・サムルノリ公演などの躍動感あふれる舞台が繰り広げられました。

とくに、テコンドーのデモンストラーションは圧巻であり、観客を魅了しました。

両国の友好親善が深まったすばらしいイベントでした。



中央労福協

高等教育費の漸進的無償化と負担軽減を考えるシンポジウム

9月14日(木)、中央労福協主催の「高等教育費の漸進的無償化と負担軽減を考えるシンポジウム」がチューブの生配信で開催されました。

中央労福協が設置した「教育費負担軽減へ向けての研究会」が発表した7つの提言について、各分野の専門家パネラーが議論を交わしました。

大学、専門学校の授業料を現在の半額とする、大学修学支援法の対象者を年間380万円から600万円まで拡大するなど、私たちにとってはぜひとも実現したい提言についての話を聞くことができます。

チューブで配信していますので、ぜひご覧ください。



高等教育費の漸進的無償化と負担軽減を考えるシンポジウム

2023年9月14日(木) YouTube Liveにて生配信! 配信開始17:30 終了20:00 (予定)

労働者福祉中央協議会が設置し、武蔵大学教授・大内裕和氏を主査として有識者で構成する「教育費負担軽減へ向けての研究会」は3月8日、高等教育費の漸進的無償化と負担軽減へ向けての政策提言を発表しました(裏面参照)。この提言を素材に、本シンポジウムでは、さまざまな分野からパネラーをお招きし、高等教育費の負担軽減の必要性やこれからの負担のあり方、誰もが安心して学べる社会への道筋や国民的合意形成をいかにして図るのか、議論を展開します。

PROGRAM

- 1 主催者挨拶 (労働者福祉中央協議会 会長 芳野 友子)
2 文部科学省からの特別報告
3 政策提言説明 (研究チーム主査 大内 裕和氏)
4 パネルディスカッション

参加方法: 本シンポジウムは一般公開です。事前申し込み不要で、全国どこからでも、どなたでもご参加いただけます。当日時間になりましたらお手持ちのスマートフォンにてQRコードからアクセスして下さい。

ゲストパネラー

- 杉田 真衣 氏 (東京理科大学 人文社会学部 准教授)
渡辺 由美子 氏 (認定NPO法人キッズドア 理事長)
室橋 祐貴 氏 (一般社団法人 日本若者協議会 代表理事)

高等教育費負担軽減へ向けての研究チーム

- 大内 裕和 氏 (武蔵大学 人文社会学部 教授)
小澤 浩明 氏 (東洋大学社会学部 社会学科 教授)
山田 哲也 氏 (一橋大学大学院 社会学研究科 教授)



高等教育費の漸進的無償化と負担軽減へ向けての政策提言

豊かな高等教育を実現することは、今後の日本の経済と社会の発展を支え、すべての人びとの権利を保障する上で必要不可欠な条件です。情報が高度化し、複雑化する現代社会において人々が豊かに生きるためには、すべての人々に高等教育を受ける権利が保障され、高等教育を受ける機会が平等であることが重要です。2020年に導入された高等教育修学支援制度はその対象が低所得世帯の学生に限定されています。支援対象のさらなる拡大や教育費の負担軽減が強く求められています。高等教育進学率80%、人生100年時代、そして急速な少子化という状況下で、希望するすべての人の高等教育を受ける権利を保障し、平等で各人が自由に幸福を追求できる社会を実現するための教育費負担軽減へ向けて、以下の7つを提言します。

- 1 大学・短大・専門学校の授業料を現在の半額とする。
2 大学等修学支援法の対象者を中間所得層まで拡大する。支援対象の上限を現在の標準世帯(4人世帯)年収380万円から、標準世帯(4人世帯)年収600万円まで拡大する。支援対象の年齢制限は撤廃し、すべての年齢を対象とする。
3 貸与型奨学金について「有利子から無利子へ」を加速化する。
4 給付型奨学金を拡充し、「貸与から給付へ」を加速化する。大学院修士課程・博士課程学生にも給付型奨学金を導入する。
5 貸与型奨学金制度の改善を実行する。具体的には人的保証の廃止、延滞金の廃止、猶予期限の撤廃、所得連動型奨学金の改善を実現する。あわせて、奨学金返済への税制支援など、既に返済している方々への負担を軽減する。
6 高校卒業生や社会人を対象とする職業教育の充実を図る。具体的には国立の職業訓練校の拡充(校数増・定員増)を実現する。
7 全国の人口50万~100万人以上の都市・自治体に、職業訓練(資格取得)と進学のコースを満たす公立のコミュニティカレッジ(短大)を設置する。

提言の社会的背景

- 1. 高等教育進学率80%時代にふさわしい教育費負担へ
2. 「人生100年時代」へ向けて「全世代型」高等教育へ
3. 急速な少子化~子育て・教育費負担が要因に

ご関心のある方はぜひ以下のQRコードからの提言の全編、補論・資料のダウンロードにアクセスしてください。



本論



補論・資料

教育費負担軽減へ向けての研究会 高等教育費負担軽減へ向けての研究チーム



下越地区

7月22日、新発田市イクネスしばたにおいて、2023下越地区労働者福祉協議会主催のワーク&ライフセミナーを開催しました。

講師には、厚生労働省委託事業キャリア形成学び直し支援センターからキャリアコンサルタント本間美香子氏をお招きし、「人生100年時代！自分らしく生き生き働き続けよう！」と題した講演会を行いました。

人生100年時代の多様な就労・社会参加が推進される今、これまでの職業人生（キャリア）を振り返り、今までのキャリアを生かし、「もっと自分らしいキャリアを見つけたい」、「子供の頃の



夢にチャレンジしたい」、「子育ても落ち着いたし、学び直しを始めた」、「などセカンドキャリアで人生を豊かに送りたいと考える方が少なくはありません。

また、参加者は、実際に社会人となって仕事を始めてから現在までの職務経歴を振り返り、職務経歴シートを自身で作成し、仕事だけではなく人生において自身に影響を与えた経験等を書き出し振り返る作業も行いました。現代社会においては、「自立型人材」が求められており、「自分らしさ」を経験の振り返りにより、個人的な観点、組織的な観点を探っていく、そんなセミナーとなりました。

新潟地区

9月30日（土）毎年恒例の新潟地区労福協・連合新潟地協の主催による「サツマイモ収穫体験祭」が開催され、昨年を大きく上回る総勢196名の組合員とその家族が新潟市江南区大淵の畑に集いました。農家さんのご協力により昨年より

大きな畑をお借りすることが出来、たくさんの収穫を期待し5月20日に苗植え。しかし猛暑と干ばつが続き、昨年に続き今年も不作になるのでは…と心配しましたが、役員の皆さんの協力で何度か水やりを行い、何とか乗り越えることが出来ました。



当日は大きなサツマイモが芽ぶる式に獲れ、ブルーシートの上はあつという間にたくさんのサツマイモが並びました。子どもたちは自分の掘り上げたサツマイモの大きさを競い合いながら楽しそうに掘っていました。

収穫したサツマイモは、社会貢献活動の一環として「にいがたお米プロジェクト」のイベントや福祉施設へも寄付されます。参加者の皆さんには一袋お持ち帰りいただきました。どんな料理になるのか楽しみですね。参加いただいた皆さんお疲れさまでした。

中越地区

【土と触れあい、会話も弾む！】今年も4月から信濃川河川敷に広

がる遊休地を活用した体験型農業を、多くの仲間と協同で行っています。農業を通じて交流し、「農」の楽しさ、「土」との触れ合い、仲間との会話を通じた交流をめざし、一生懸命に、働く喜びや色々な人たちとの出会いを楽しんでいます。

「農」に触れ合うことで家庭に引きこもりの状態を脱却できればと考え、夏の作業に新潟県ライフサポートセンター相談者さんを招待しました。相談員が何回かの面談で、外の畑作業は？ 外の空気を吸うことで何かをつかめれば！ ちょうど「農」体験活動があるので参加してみては？ と話をする中で相談者の気持ちが行ってみようという気持ちの変化がみられ、参加することになりました。当日は、暑くてジャガイモ掘りがメイン作業でしたが、相談者は黙々と作業をこなしていました。後日、相談員が相談者に聞くと「何か違った世界のような気がしたが、作業は楽しかった。」という声がありました。ひきこもりの方が、農作業を契機に少しづつ社会への階段を進めていければうれしいことです。

2021年10月の組織改正で、新潟県ライフサポートセンター活動がここ長岡市の連合中越事務所内に集約され、2年を迎えようとしています。この間、4名の相談員が平日（月曜から金曜まで）電話による相談業務を中心にいろいろな相談、悩



み事に対応してきています。

近年は、「ひきこもり」相談で親御さんからの相談が多くあります。

「ひきこもり」課題は、国がその実態調査を今年も行っていているようです。課題解決には各々のケースが違うため、対応が本当に難しく、解決までに相当年数がかかります。これからも粘り強く、かつ丁寧に、相手の気持ちを感じる相談活動をすすめていきます。

これからも新潟県ライフサポートセンターの存在を県内に知らしめるため、各地区事務局長の皆さんをはじめ多くの役員、機関の皆様から協力いただきたくお願ひします。これからもよろしくお願ひいたします。

新潟県ライフサポートセンターの活動以外は？と振り返ると、まだまだ消化不良状態が続いています。

「様々な考えや組織の枠を超えて、すべての働く人、生活する人の福祉の充実と生活向上をめざす」原点を常に思い、長岡地区で運動する大切さを痛感しています。

労福協運動は、シニア時代にもうってつけの運動スタイルだと思えます。

シニアは、いかに余裕を持てるか！その余裕を社会にどう還元できるのか？そのために何をするのか？自分ができる範囲で、人生100年時代を元気に進むことが一番です。

柏崎地区

〔7月21日 総会を開催〕

新型コロナウイルスが、ヒトの中に忍び込んで以来、昨年まで新型コロナウイルス感染の拡大を避けることから、書面による総会、又は役員のための総会でした。

今回の総会は、地区労福協役員と柏崎地協役員という参加者限定でしたが4年振りに懇親会を入れた総会を開くことができました。

また、県労福協からは佐藤事務局長にご出席ご挨拶をいただきました。総会は、県労福協の活動方針を基に、柏崎地区労福協内で活動出来る事、他団体との情報交換や、協力体制を強める事、等の活動を確認しました。

上越地区

9月10日(日)高田世界館において、アフガニスタンとパキスタンで人道支援に尽力した中村哲医師の活動を記録したドキュメンタリー映画『医師中村哲の仕事・働くというこ

と』の上映会を上越実行委員会にて開催し、1部2部合計で215名の参加をいただきました。



映画を通

じて、中村医師が命を懸けて取り組んできた活動への支援と同時に、改めて地域づくりや困っている人たちの問題解決に向けて取り組んでいる人たちの結びつきを広げながら、今後の課題解決に向けての発展に繋がるときっかけにしたいと考えます。

上映後には、町家交流館にて、感想討論会も開催しました。

糸魚川地区

〔第11回総会および第20回親善ゴルフ大会開催〕

6月29日(木)ヒスイ王国館にて「糸魚川地区労福協第11回総会」を開催しました。



来賓として新潟県労福協・石本専務理事からご臨席いただき、ご挨拶の中で県労福協が取り組

んでいる各種活動についてご紹介いただきました。総会では、2022年度の活動報告及び2023年度活動計画について審議を行いました。また、第2部はコロナ禍で開催できなかった懇親会を4年ぶりに行い、参加者と交流と親睦を深めることが出来ました。

7月19日(水)糸魚川カントリークラブにて「第20回労福協親善ゴルフ大会」を開催しました。来賓として新潟県労福協・江口事務局長から参加していただき、総勢20名の大会となりました。当日は天候にも恵まれ、参加者はお互いのプレーをたたえ合い、和気あいあいのゴルフコンペとなりました。

表彰式は、月徳飯店に会場を移し、ゴルフ談義に花を咲かせていました。今回は20回の記念大会であり、豪華賞品を受け取った入賞者は大変喜んでおりました。第30回記念大会が開催できるように続けて行きたいと思ひます。



調査・研究事業報告

連載/第3回

近未来の労働環境の変容とその課題

「増えるもの」「減るもの」
「なくなっていくもの」

公益社団法人 新潟県自治研究センター

【日々進化するAI】

先日、筆者が委員を務めるある研究会で、約700人分のアンケートの回答が返ってきた。自由記載欄に寄せられた膨大な意見を丁寧に読み取る作業をしていたところ、別の委員から生成AIが作成した要約が示され、その「仕事ぶり」に一同驚愕した。「2行で」、「30字程度で」などと、こちらが指示をすれば、あっという間に「要約」が打ち出されるのである。

筆者が出講している大学においても、生成AIについては、「利用を一律禁止するのではなく、利用方法を正しく理解し、自身の良識・倫理観に基づいて活用していくことが望ましい」との見解が出されているが、研究・教育の分野に限らず、この現代の最先端技術が私たちの働き方や社会に大きな影響を与えることは間違いない。

「近未来の労働環境の変容とその課題」をテーマに、2023年3月に発行された報告書では、これに関連した

2本の論考が収められている。今回は、そのうちのひとつ、岡田浩人氏の「AIなど新たなIT（ICT）の広がりが経済・労働環境に与える影響と近未来像」を紹介したい。

【IT、AIの進化と働き方】

岡田氏の論考の前半部では、ITやAIの進化と、それが労働環境や社会に及ぼした影響について簡潔にまとめられており、1990年代後半のインターネットの普及、2000年代後半のスマートフォンの普及が何をもたらしたのかについて触れている。

たとえば、2010年代に登場した、フードデリバリーの配達員に代表されるギグワークは、スマートフォンの普及がもたらした新しい働き方のひとつである。岡田氏もその一例として紹介しているように、こうした「単発」の仕事は、新型ウイルス禍後の客足の戻った温泉旅館で、働き手不足解消の方法として現在進行形で用いられても

いる。その一方で、「あすの仕事が見つかるとかも確約されない働き方は、雇用の不安定化、ひいては社会の不安定化を招きかねない要素も含んでいる」との指摘は重く受け止めるべき問題であろう。

ギグワークに象徴される不安定雇用に限らず、AI等の進化は、現在の「安定した」雇用を奪うのではないかとこの指摘もよく聞かれる。岡田氏は、

この分野の専門家の見解と総務省『情報通信白書』（2018年版）などに基づき、AIでも「残る仕事」や「なくなる仕事」、そして労働者に求められるものを紹介している。たとえば、白書によれば、「AIの普及に対応するために企業が従業員に求める能力」として、「論理的思考などの業務遂行能力」などが特になげられているが、まさにこの文脈にあるのが、AIを使いこなすための「リスキリング」ということになる。その一方で、「AIに奪われた職以上の職を生み出すことは非常に難しい」という専門家の見立ても紹介されており、今後の雇用、労働を考えるうえで重い課題といえよう。

【歴史の教訓をふまえた対応を】

今から20年以上前、厚生労働省が発表した「『IT革命』が我が国の労働に与える影響についての調査研究報告書」（2001年4月）では、IT化でパソコンに向かう仕事が増えたとす

るアンケート結果とともに、「IT化の進んだ企業ほど非正規社員比率や外部委託利用が増えている」こと、「正社員と非正規社員の『分化』が起きている」とが述べられている。

岡田氏は「『小泉改革』以降、急速に日本社会で進んだ非正規社員の増加と雇用の不安定化の背景には、こうした企業のIT化にともなう労働者の『分化』が理由のひとつにあったと考えられる」と厳しく指摘する。

現在、岸田内閣は、「デジタルの力」を「社会課題を解決するための鍵」であり、新しい付加価値を生み出す源泉」として位置付け、「デジタル田園都市国家構想」を掲げている。真に課題解決の未来を描き得るものなのか、働くものの側からも注視していかねければならないだろう。

なお、報告書には、国のデジタル化施策について、現状と課題を論じた、梶口敏行氏の「日本におけるDXの歩みと労働の変化—AI・IoTそしてDXが加速する社会の考察—」も掲載されている。岡田氏の論考とあわせてご参照いただき、ご活用いただければ幸いである。

（文責・新潟県自治研究センター

齋藤 喜和）



新潟ろうきん夢咲Clubは

〈ろうきん〉に加入していない事業所にお勤めの方が
〈ろうきん〉を利用する際にご加入いただくメンバーズクラブです!

ご入会

新潟ろうきんの県内26店舗で入会手続きができます。
加入申込書は新潟ろうきんの全店舗に備え付けてあります。*入会金や会費は必要ありません

ご加入 いただける方

新潟ろうきんとお取引がある、あるいはお取引を予定されている方で、
以下のいずれかの加入条件を満たす15歳以上の方となります。

- 1 新潟県内に居住または勤務する勤労者の方など
- 2 将来、新潟県内に居住または勤務する予定のある方

おもな活動と 会員サービス

- 会報誌「夢咲Club通信」の発行
- 暮らしに役立つイベントなどの開催
- 安心の無料相談ネットワーク(弁護士無料法律相談、健康ダイヤルなど)

ご加入は最寄りのろうきん本支店窓口へ。お問い合わせは新潟ろうきん夢咲Clubまで。

新潟ろうきん夢咲Club

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫本店5階
TEL 025-201-8765 FAX 025-201-8755
<https://www.n-yume.jp>

<新潟ろうきん福祉財団では・・・>

「すべての勤労者、県民の社会的・経済的及び
文化的地位の向上」に向けて、3つの事業を
行っています!!

- ① 県民・勤労者の福祉・文化向上に関する事業
 - セミナー等開催事業 (ワーク&ライフセミナー、文化講演会など)
 - 福祉リーダー養成事業 (にいがた福祉リーダー塾)
- ② NPO等地域活動団体助成事業
 - NPO等地域活動団体助成事業 (他、調査研究および各種セミナー開催)
- ③ 奨学金事業
 - 高校生に対する奨学金給付事業 (今年度より募集枠上限100人に拡大)

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 勤労福祉会館4階

公益財団法人 新潟ろうきん福祉財団

URL <https://www.zaidan-hukushi.or.jp>

今後の日程

10月	11日 (水) ~14日 (土)	日韓・韓日親善協会合同大会 (韓国ソウル)
	12日 (木)	東部ブロック第240回幹事会 (栃木県宇都宮市)
	12日 (木)	東部ブロック代表者・幹事会合同会議 (栃木県宇都宮市)
	12日 (木)	消費生活ネットワーク第3回理事会
	18日 (水)	地区労福協事務局長会議 (勤労福祉会館)
	23日 (月) ~27日 (金)	韓国労働組合総連盟ソウル特別市地域本部来日
	26日 (木)	新潟市PS第1回事業連絡会・第7回支援調整会議 (勤労福祉会館)
11月	3日 (金)	第33回勤労者駅伝大会 (デンカビッグスワンスタジアム)
	8日 (水)	連合新潟第33回定期大会 (新潟東映ホテル)
	11日 (土) ~12日 (日)	生活困窮者自立支援全国研究交流集会 (北海道札幌市)
	15日 (水)	県労福協第145回理事会 (勤労福祉会館)
	22日 (水)	中央労福協第66回定期総会 (東京都千代田区)
	29日 (水) ~12/1 (金)	東部ブロック第241回幹事会 (埼玉県浦和市) 東部ブロック第58回定期総会 (埼玉県浦和市) 役員研修会
	30日 (木)	新潟市PS第8回支援調整会議 (勤労福祉会館)
12月	7日 (木)	ワーク&ライフフォーラム総括集会 (新潟東映ホテル)
	13日 (水)	中央労福協・生活困窮者相談員オンライン交流会
	21日 (木)	消費生活ネットワーク第5回理事会
	21日 (木)	新潟市PS第9回支援調整会議

編集後記

❖初めての編集作業となった。締め切りとの戦いで、ご期待にそえるものになったかは心配である。読みやすい紙面づくりを心がけるので、ご意見があれば遠慮なくご指導をお願いしたい。

❖20数年ぶりにゴルフを再開した。ただ止まってるボールを打つだけなのに、相変わらず難しい。運動神経というものがあるとは思えない私にとっては、これから厳しい修行となりそうだ。

❖走るのが好きな人との話の勢いで勤労者駅伝大会にも参加をすることになった。還暦を過ぎてからのチャレン

ジは、無謀なのかもしれない。与えられた3キロを走り切れるよう、練習を始めたが、動悸と息切れでくじけそうになる。お恥ずかしい話だが、速く走って走れるランニングシューズを本気で探しているところである。おそらくチームの足を引っ張り、後悔することになるだろうが、走ることなどは無縁で大嫌いだった自分が、少しずつ走り始めたことをほめてやりたい気がする。

❖こんな機会を与えていただいた皆様に感謝するとともに、私でも参加できるのだから、来年は恐れることなく多くの皆さまからご参加いただくことを

呼びかけたい。

❖昔から好きな言葉に疾風怒涛という言葉があるので、ペンネームとして使わせていただく。

(新光町の疾風怒涛)



第33回勤労者駅伝大会を開催

2023年11月3日(金・祝)、デンカビッグスワンスタジアムにて第33回勤労者駅伝大会を開催いたします。

10:45 開会式 11:30 スタート
14:30 (予定) 閉会式

応援よろしくをお願いします。

